

びんご経済レポート

<http://keizai-report.com/web/>

レトロニューミュージック

アジアツインズ

光と風 Hi-Fu

人。この【人】に聞く

PICK UP

三原市にカフェ・レストランよがんすがオープン
増田製粉(株)三原大和工場が完成
すまいポート 21 福山がフジグラン神辺に出店
第4回キッズミュージックフェスティバル 2017 開催

2017

4|20

No.1983

600yen

(本体価格 556円)

おかげさまで

55
周年



伝えたいのは心からの愛
自分の一番大切な人の笑顔が見たい!

旧神田小学校のグラウンド内に完成した「増田製粉株式会社三原大和工場」



増田製粉(株)三原大和工場 旧神田小学校グラウンド内に完成

餅粉と米粉を製造、生産拡大を目指す

粉を製造し、生産の拡大を目指す。

米粉など製菓原料の製造・販売を行っている増田製粉(株)(広島市西区商工センター7-1-3)は、資本金2千万円、増田裕典社長は、今月、三原市大和町の旧神田小学校のグラウンド内に三原大和工場(三原市大和町下徳良1986)を完成した。同社の主力商品である餅粉と米粉

三原大和工場は敷地面積約2225㎡に、鉄骨造り2階建て、延べ床面積約814㎡で、投資額は約3億円。本社工場の老朽化の解消と生産および配送体制の強化、原材料となる米の確保のため新設した。

工場内は原料の米を研削する研削精米機や色彩選別機、米を洗う洗浄機、脱水機、米を粉末にする気流粉砕機、胴搗製粉機、乾燥機を設置している。

餅粉と米粉の製造は、原料の米を洗い、気流粉砕機で粉にする。その後機械で細かくふるいにかけて水分がなくなるまで乾燥する。袋詰めする際に異物がないかを確認して出荷する。

同社は明治22年に創業、和菓子の原



工場内部の様子

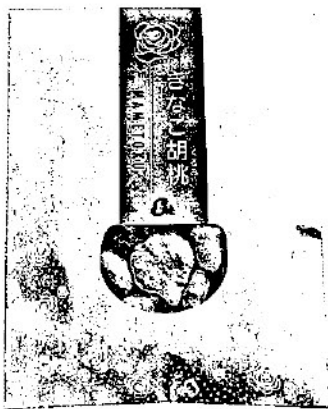
料を製造販売したのが始まり。昭和54年に本社と工場を西区商工センターに移転。庄原市を中心とした備北地方の米を使用した餅粉や米粉、世羅町産の大豆を使用し、色濃く焙煎して脱皮し極細に挽いた芳醇な香りのきな粉を販売している。今後も県内を中心に販売網を強化、和菓子、洋菓子、パンなどの製造指導、米粉を使用した啓蒙活動を行う。

4月の新商品「きなこ胡桃」 徳永製菓(株)が新商品を発売

3月下旬に天満屋福山店へコーナーを設置

豆菓子などを製造・販売している徳永製菓(株)(福山市胡町4-21、上迫豊社長)は、4月の新商品「きなこ胡桃」を発売した。

シユガーコーティングしたクルミに、香り豊かなきな粉を巻き込んだ商品に仕上げた。きな粉の香りとクルミの食感が楽しめる。新シリーズ「ふくやまみやげ」のバラ文様をデザインした小袋仕



様。50gで税込み324円。

子どもの日のプレゼントにふさわしい、かわいい鯉のぼりの包装に詰め合わせた商品も販売している。ハッピーBOX鯉が税込み432円、バステルこいのぼり(ピング・ブルー)が税込み900円。

また同社は3月下旬、天満屋福山店の地下1階に「豆徳コーナー」がオープンした。

広島銀行が私募債受託 尾道石材(株)の第1回無担保社債

(株)広島銀行(広島市、池田晃治頭取)は、尾道石材(株)の銀行保証付き私募債を受託した。

銘柄名は「尾道石材株式会社 第1回無担保社債(株)広島銀行保証付・適格機関投資家限定、分割譲渡制限特約付」、発行額5千万円、発行日3月31日、期間3年、資金用途は運転資金。広島銀行が単独で引き受けた。

尾道石材(株)(尾道市東尾道3-11、代表者小迫佳紀)は石材加工販売業者。昭和48年に設立された尾道石材企業組合が前身で、平成15年に尾道石材(株)に組織変更して現在に至っている。墓石の販売・移動・撤去、クリーニング研磨、防草工事、納骨・仮納骨、表札作成などを手掛けている。